

平成 29 年 10 月 26 日

士幌町長 小 林 康 雄 殿

士幌町環境マネジメントシステム
監査チーム

主任監査員 東村 達夫

副主任監査員 森 孝男

副主任監査員 小澤はる奈

環 境 監 査 報 告 書

L A S - E 実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日程

平成 29 年 10 月 26 日（木）

2. 監査対象

本庁舎：10 実行部門、外部施設：9 実行部門、計 19 実行部門
および環境政策推進本部長、副本部長、事務局

3. LAS-E 監査内容

【重点項目監査】

- 1 役場全体および各課のマネジメント
- 2 役場全体および各課のアクション
 - ① 仕事の改善による省エネ・省資源
 - ② 地域環境保全・本来業務での取り組み
 - ③ 環境基本計画の進捗
 - ④ 独自の取り組み
- 3 ガバナンス

参考：LAS-E共通実施項目

第 1 ステージ

1-1～1-30（1-12、1-23、1-30 を除く）計 27 項目相当

第 2 ステージ

2-1～2-6、2-8～2-10、2-12、2-14～2-17、2-21、2-22、2-25～2-30

計 21 項目相当

4. 総合所見

昨年から引き続き LAS-E II 規格に準拠した監査手法として、重点的な監査項目に絞り込んだ監査を行いました。今年度監査の重点項目として、①仕事の改善による省エネ・省資源（アクション第 1 ステージ相当）、②地域環境保全・本来業務での取り組み（アクション第 2 ステージ相当）、③環境基本計画の進捗 の 3 点を設定しました。また、昨年度の監査で監査チームから各課に提案した「おすすめ施策」の実践・検討状況を確認する質問も設けました。

取り組み状況については、運用の手引きに記載された取り組みが着実に実践されており、職場の特性に応じた独自の工夫も多く職場で見られました。すぐれた取り組みとして◎が 7 項目になりました。単なるエコオフィスの取り組みではなく、職員と地域住民や施設利用者などが協力して活動を充実させている事例が多く発掘され、環境活動の広がりがみられる結果となりました。

以下、項目別に詳細を述べます。

1. 役場全体及び各課のマネジメント

変更された事前書面調査により、事務・事業と環境側面との関係を定常業務と特殊業務に分けて捉えることができるようになっていました。この様式により、監査においても当年度の特殊事情を踏まえたやり取りがしやすくなりました。事務局としても各職場の状況をよく把握しています。しかし事前書面調査の記述内容が不十分な職場もあり、こうした職場では業務と環境負荷との関連を十分に捉えていないことが危惧されます。職場の特性に応じてメリハリをつけて取り組みを継続するためにも、業務と環境負荷の関連を各職場でしっかり認識することが重要であることを改めて周知していただきたいと思います。

各課でのマネジメントでは、環境負荷に関する実績値が見える化し目標達成に向けた意識を持たせる動きが広まっていることがうかがえました。実績報告のみでなく、職場内で結果を共有し取り組みの改善に繋げる、職場単位の PDCA 確立が進むことを期待します。

2. 役場全体及び各課のアクション

監査対象となった部署・施設では、運用の手引きに沿った環境配慮行動がしっかりと実行されていることが確認できました。職員の取り組みはもちろん、役場や施設を訪れる町民、事業者に対する呼びかけや協力要請も行われており、さまざまな機会を捉えて庁外への発信にも心掛けているようです。住民や施設利用者と共に取り組む独自の取り組みも見られました。こうした取り組みの手法や考え方を水平展開し、職場の特性を生かした独自取組の充実を進めていただきたいと思います。

また、小学校での取り組みのレベルが大きく向上していたことが印象的でした。保護者や来校者への協力呼びかけや児童への指導など、細やかな配慮が行き届いており、教職員全体で情報共有して取り組みを改善しようとする意欲も感じられました。今回の監査対象となった 3 校は今年度いっぱい統合されますが、これまでの取り組みを引き継ぎ、継続されることを望みます。

環境基本計画の施策担当課に対しては、監査チームがあらかじめ選定した主要施策について、これまでの取り組み成果と今後の方針を確認しました。環境基本計画の策定から年数が経過したことで、当初計画とは異なる方針で進められている施策や、施設の新設にともなってステージアップが期待できる施策など、各課の抱えている状況が整理できました。今回得られた情報は、計画の反映に適切に反映していただきたいと思います。

3. ガバナンス

住民等への情報発信、コミュニケーションについては、役場全体（事務局）及び各課とも概ね良好に公表、周知、啓発などが行われていました。住民への情報発信と環境負荷（紙使用量の削減）を両立している事例もみられました。住民との接点が多い部署・施設では、業務やイベントの中で協働の取り組みが数多く生まれています。業務の特性から住民との関係が薄い部署では、協働の難しさを感じているようですが、出入事業者との協力で環境負荷に取り組んでいる部署も見られました。行政の仕事を取り巻く多くの関係者を巻き込み、環境配慮行動を広げていくことを、より強く意識していただきたいと思います。

以上

<すぐれた取り組み>

評価	監査部署	チェック項目	内容
◎	西上小	G-1	学習発表会の案内文に LAS-E の説明に加え「令状は省略します」の文章を入れ、礼状の紙を節約している
◎	新田小	G-1	・学習発表会の案内文に LAS-E の説明に加え「令状は省略します」の文章を入れ、礼状の紙を節約している ・春・秋に地区周辺のクリーン作戦（生徒と地域の方と共同作業） ・公民館だよりは手配りや FAX で郵送費節減
◎	新田小	A-5	3 年程前からの電気使用量の事績をグラフで作成（月毎）、職員室の黒板に掲示し、節約の啓発を行っている
◎	下居辺小	A-5	環境改善の独自目標が充実している
◎	産業課	G-2	余ったパンフレットで袋を作り（職員、地域おこし隊、野菜の出荷者などと共同作業）、新しいパンフの持ち帰り用としている
◎	総務企画課	G-2	・今年から 7000 人祭りにて、ごみ収集ボランティアを募集（3 名）。 ・ごみの持ち帰り等の周知と啓発（ごみ箱は設置せず、ごみ袋を提供し持ち帰り周知）

<改善が必要>

評価	監査部署	チェック項目	内容
△	教育課	M-2	暖房温度を低く設定していることで町民から苦情が来たが、これを事務局に報告していなかった

5. 監査実施項目評価結果一覧

視点	設問No.	重点項目	取り組み内容	実施率 (◎/○)	評価 結果
マネジ メント	(本)	協議と指示	首長による定期的協議、適切な指示	100.0%	○
	(事)	事務局の状況	環境に関する取り組みの状況と変更点 マネジメント上の変更点・改良点	100.0%	○
	(事)	庁内のコミュニ ケーション	環境マネージャー会議の開催 推進本部会議の開催、町長指示への対応 基本方針の周知・指導	100.0%	○
	(事)	教育、研修	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の 実施、理解	100.0%	○
	1	各課の状況	業務内容・人員等	—	○
	2	教育、研修等の 状況	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の 実施、理解	94.7%	○
	3	課長や職員の認 識の確認	環境方針・目標・組織体制の認識 環境影響の把握 課の業務に応じた環境活動の実施	100.0%	○
アク シ ョ ン	(事)	施設・設備の改 善による省エ ネ・省資源	公共施設における再生可能エネルギー等の導入 施設の新設・更新時における環境配慮設備の検討	100.0%	○
	(事)	地域環境保全や 各課の環境関連 事業・予算の把 握	施策・事業の成果、予算等の把握 環境関連事業の評価	100.0%	○
	(事)	住民や事業者に よる環境活動の 把握	住民・事業者主体の環境活動、協働事業の実施・ 把握	100.0%	○
	1	仕事の改善によ る省エネ・省資 源	省エネ・省資源、節水・排水負荷削減、紙の節 減、廃棄物削減・リサイクル、グリーン購入 公用車使用の負荷低減、通勤時の負荷低減 施設常駐者、出入業者への配慮要請 事前書面調査表に記載の環境負荷・特殊業務の状 況と取り組み	100.0%	○
	2	地域環境保全・ 本来業務での取 り組み	水環境保全、森林・農地の保全、生物多様性 廃棄物や有害物質の排出削減 地域資源の活用、産業育成 施設利用者への配慮要請 事前書面調査に記載の環境に関わる事業・活動の 状況	100.0%	○
	3	環境基本計画の 進捗	環境関連施策・事業の実施状況と自己評価 計画改定に向けた方針	100.0%	○
	4	昨年度監査提案 の検討状況	先進的取り組みの導入・検討状況	100.0%	○
	5	独自の取り組み	独自の環境配慮の工夫、実践	100.0%	○
ガバ ナ ン ス	(事)	住民等とのコ ミュニケーショ ン	行政の環境保全に対する施策・取り組みの公表・ 公開 公共事業に関わる環境負荷の情報公開 環境に関する意見・苦情への対応	100.0%	○
	1	住民等とのコ ミュニケーショ ン	行政の環境保全に対する施策・取り組みの公表・ 公開	100.0%	○
	2	住民・事業者と の協働	環境保全事業等への住民参画状況 計画の策定・改定への住民参画	100.0%	○

(本) : 推進本部に対する監査項目

(事) : 事務局に対する監査項目

実施率: 監査項目の評価が◎または○の個数の割合が 80%以上なら○、60%以上 80%未満なら△、60%未満なら×と評価